

増刊号 そよかぜ

こどもをみまもる
しみんがいぎ



三郷市
マスコットキャラクター
かいちゃん&つぶちゃん

令和2年12月1日 第32号
発行 三郷市青少年育成市民会議
編集 広報啓発部 会
事務局 三郷市教育委員会青少年課内
三郷市谷口570番地(三郷市青少年ホーム内)
☎048(953)1040 FAX 048(953)1068



食を通じた Part 2 子どもの居場所づくり 地域コミュニティの拠点として

地域住民、NPO法人や自治体などが無料や低価格で子どもたちに食事を提供してきた「子ども食堂」は、全国的に急速に広がりを見せていましたが、新型コロナウイルスの影響で岐路に立たされています。

憩いやだんらんの場としての意義がある「子ども食堂」ですが、「3密」になりやすいことから、感染拡大防止対策上開きにくい状態が続いているためです。

農家や商店、地域の方からの食材提供、支援の拡大・連携も市内各地に広がっています。またコロナ禍の影響による孤立や食を必要としている家庭の増加など「子ども食堂」に対する需要も高まっています。

その中で、「困っている子どもを支援したい」という運営者の思いから、配食や宅食という一つの方向性も出てきています。



総菜パン、菓子パン・マスク・歯ブラシの配布

今、三郷市での現状はどうなっているでしょう？

昨年に引き続き、子ども食堂について特集します。

コロナに負けず知恵を絞って新しい形で展開している所、今年度から開業しようとしている所など、運営者の皆さんに現状をお聞きしました。



NPO法人三郷おあしす会 おあしす子ども食堂

日 時 毎月第4土曜日 11:00～12:30
場 所 旧馬渡さん家 鷹野4-269
参加費 子ども無料 大人300円



多世代交流のお食事処として、みんなでご飯を食べておしゃべりをしたり、楽しい行事に参加したり、宿題をやったりと3年間皆さんに場を提供してきました。

今年度は残念ながらコロナ禍で今までの通り活動ができないため、お弁当のテイクアウトを毎月行なっています。

新型コロナの終息まで子ども達と子育てママさん、地域のお年寄りが顔をあわせて元気をもらえる場として続けていきます！

お問い合わせ 048-956-0065

出会いふれあいオリーブの会 ふれあい子ども食堂

みんなで気をつけよう！みんなでがんばろう！！

日 時 毎週日曜日 11:30～13:00
場 所 早稲田3-26-19（クリニックふれあいの近くです）
【実施日にのぼり旗をだしています。】
提供の方法 お弁当をお渡ししています。
参加費 子ども・保護者 各100円



どんなことができるか模索し、安全と予防を最優先して現在はテイクアウトのみで提供しています。大切にしていた『ふれあい』の部分のカットしての活動でさみしい思いをしていますが、その分お弁当づくりに「力と心」をこめています。

お問い合わせ 080-6651-5386（香取）



ほっとすぺーすのびのび のびのび食堂～親子食堂～

昨年4月から始まった高州地区文化センターでの親子食堂は、毎週15組以上の親子が参加していました。

3月からはコロナ禍で活動を見合わせていますが地区文化センターの使用状況等を随時確認しながら再開予定です。赤ちゃん、乳幼児からでも『集まって食べる』『みんなと食べる』ということはとても重要で家族だけで食べることは違います。

みんなと食べることで親も自分の子以外の様子を見れたり、子育ての話をしたり、笑いあうことができたりする時間になります。

そんな時間と居場所をまた作れるよう、考えていきたいと思います。



お問い合わせ 090-4715-3615 (竹内)



このゆびとーまれ♪ みさときっず食堂

「このゆびとーまれ♪」という団体名で「みさときっず食堂」と「みさと子育て応援フードパントリー」を運営しています。昨年春より、穴戸歯科医院様に三郷駅前の店舗を無償でご提供いただき、こども食堂をスタートしました。一日40名程度の来店があり、地域のこども同士と一緒にご飯を食べ、大人が見守る、地域交流の場です。活動にご賛同いただき、予想以上に食材等の寄付が集まりました。

そのような中、コロナにより食堂の開催ができなくなりました。

これをきっかけとして、団体設立時より温めていたフードパントリーを、本年3月より開始することにしました。寄付食材の賞味期限もあり、フードドライブで集めた食材と合わせ、多くの子育て世帯へ配布しています。

一時期は学校も休校となり、一日3食作る家庭の食費負担も大きく、食材配布は皆さん笑顔で、特にお米が喜ばれました。どの企業、団体も賞味期限間近の食材の廃棄に悩んでいたため、無駄にすることなく、よい橋渡しとなりました。また近隣の飲食店に協力していただきお弁当や、「おうちでクッキングセット」の配布と、子ども達が食に親しんでもらう活動も継続しています。

お問い合わせ 090-2536-9469 (仲野)





NPO法人ささえあいの会みさとクローバー クローバー子どもカフェ

日 時 毎月第1土曜日 11:30～13:30
場 所 彦成4丁目17 四丁目のクローバー
参加費 子ども 100円 大人 300円
親子2人のときは300円

やっと再開できました！

コロナ禍で約半年間休止していましたが、10月3日（土）から再開しました。

再開に当たっては、検温・消毒・テーブル上の隔離板設置など、コロナ感染拡大防止対策を十分にとって行いました。（三郷市「子どもの居場所」緊急対策事業補助金で対応）

お弁当形式にし、食べやすいように工夫をしました。子どもたちのにぎやかな声や「おいしい、全部食べたよ」という声を聞き、スタッフ一同「これからよろしく」とエールを送られたように感じました。

お問い合わせ 048-950-8208



特定非営利活動法人 MiKO ネット みんなで作ってたべよう！

活動回数 年6回程度
場 所 みさと団地南地区
コミュニティ広場&集会所
参加費 18才以下0円 19才以上300円



トリックオアトリート お菓子がもらえる合言葉



今年は、近隣の飲食店の方をお願いして、お弁当やパンを作ってもらい、配食しています。

コロナ禍で、「みんなで一緒につくる」「みんなで一緒に食べる」ことができなくなりました。でも、食べることは、重要です。このような状況の中で、何ができるのでしょうか？

みんなで集まれなくても、子どもたちとコミュニケーションをとり、つながりを絶やすことなく、新しい生活様式の中での「子どもの居場所」づくりを模索中です。

お問い合わせ 048-959-5003





2020年に始まった子ども食堂

○△□子ども食堂 (まるさんかくしかく)

はじめまして。今年の6月より活動しています。

温かくおいしいごはん、日々の暮らしを大切に、ちょっとした工夫で楽しい食卓。そんな居場所を提供する予定です。

コロナ禍で、現在は簡単レシピ付き食材セットや手作り雑貨（キット付）などをプレゼントしています。

また、「お外でおはなし会」など開催しています。



絵本の資格を活かしたお話をしています



活動日 毎月第4水曜日
(PM4:30 ~ 7:00 頃まで)

場 所 鷹野 1-495
清浄寺三郷分院

参加費 子ども 無 料
(予約制) 大 人 300 円
☎ 080-4933-6660(加崎)

✉ marusankakusikaku25@gmail.com 詳しくはインスタグラムで @marusankakusikaku25



KOUOUJI わせた子ども食堂



はじめまして、わせた子ども食堂です。

私たちは早稲田二丁目にある高応寺を会場に新しくオープンする子ども食堂です。

現在はコロナ禍にあるため開催時期を見極めている状況ですが、いつでもスタートできるよう準備をしています。

食事難や孤食といった社会問題は私たちの身近にあります。

また長期化するコロナ禍で終わりの見えない状況に誰もがストレスを感じています。

こんな時だからこそ、子ども・保護者・地域が支えあい分かち合い『つながる』場所が必要です。

現在わせた子ども食堂では3密を避けてのイベントを企画中です。

決まり次第お知らせいたしますので楽しみにお待ちください！

お問い合わせ 080-4468-8517

わせた子ども食堂 代表 寺沢 美紗

フードパントリーとは、
どのような活動でしょう？
去年は、「子ども食堂」を
今年は「フードパントリー」
を開設された仲野いづみさん
にお話を伺いました。



「子ども食堂」を始められた キッカケは？

私は三郷駅南商店街で洋品店を経営しています。商店街の会合で何か社会貢献になることをやりたいということになり、子ども食堂を運営しようと盛り上がりしました。場所・資金・ボランティアも必要ですので、お手紙を作り商店街の方々に声をかけました。すると穴戸歯科さんがビルの空き店舗を提供して下さい、令和元年5月に「みさときっず食堂」を始めました。毎週日曜日にランチを提供して、秋には子どもが子どもを呼んでくるようになり、1回70人ほどが集まるようになりました。

12月のクリスマス会には「三郷ウインドオーケストラ」さんの協力でミニコンサートを開き、100人以上集まりました。寄付していただいたミニタルトに色々トッピングして500個作りました。



どうして、フードパントリーを 始められたのですか？

令和2年2月に新型コロナの感染が拡がり、「子ども食堂」を休止していました。いただいていたものはたくさんあるし、子どもたちの食が心配だったので、3月からは、お弁当を作って配ることにしました。作って配るだけでなく、お家で作ってもらうことが必要だと思い、いただいたものの中から「好きな

ものを5個取ってください」と利用者に呼びかけたところ、140家庭を超える参加がありました。

そこで、食品を必要としている家庭、食品支援を必要としている家庭に結びつくパントリーを始めようと思い、草加や越谷のフードパントリーを見学に行きました。その様子が新聞に載り、それを見た「おあしす子ども食堂」の田中さんから電話があり、子どもたちに対する熱い思いを語り合い、三郷でもフードパントリーをやろうということになり【みさと子育て応援フードパントリー】を開設することになりました。開設するにあたっては、みさときっず食堂のメンバー（早稲田小学校保護者や地域の方々）の合意と協力がありました。また、運営も市内の子ども食堂や三郷青年会議所の皆さんに協力をいただいています。

市全体を対象にやりたいと思っていましたが、アプローチの仕方が分かりません。そこで、市に相談し、児童扶養手当の通知案内の裏面に「フードパントリー登録のお願い」文書を印刷、郵送してもらいました。

2ヶ月に1回、フードバンクから食材を運んできて、配布場所で配布の準備をし、ラインを通じた登録者が取りに来ます。

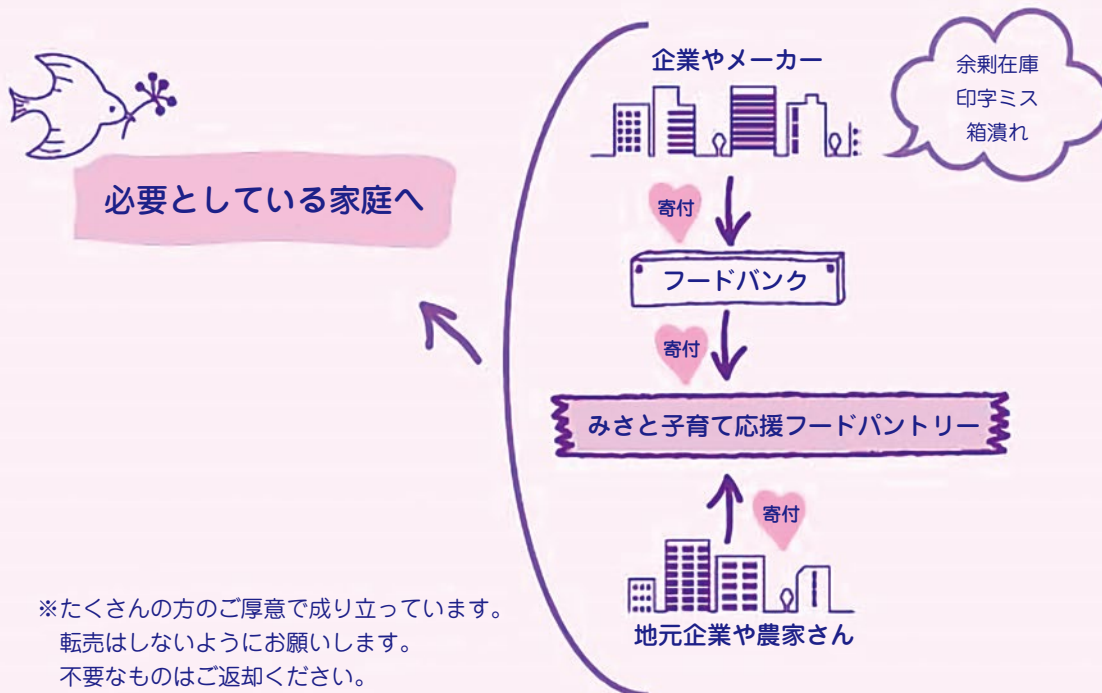
今、現在提供している家庭は どのくらいですか？

今現在、登録者は70世帯くらいです。まだまだ、本当に必要な人に届いていないようです。配布場所は今まで2箇所でしたが、10月から3箇所になりました。（6・7・8・10月開催済）

今現在の配布対象者は、ひとり親世帯、生活保護受給世帯、保護者が障害者手帳を持っている世帯で子育てをされている方です。この基準に該当しない方でも、ご家庭の状況次第では、登録できる場合もあります。個別に対応しますので、是非お電話ください。

フードパントリーとは

食品支援が必要な家庭に無料で食品を配布する活動です。廃棄される食品を届けることで食品ロス、廃棄ロスを軽減につなげる社会的貢献活動です。



将来的に目指している姿とは。

基本的な入り口は、食品を渡すことですが、コロナ後はもっとお話をしコミュニケーションをとり、困っていることを聞き、行政につなげていければと思います。私の願いは、お腹がすいて困っている子がいなくなることです。

活動して1年半、今まで交流がなかった、いろんな方々と知り合いました。その中で多くの方が「自分もボランティアがやりたい」とおっしゃってくだ

さいます。そんな方々が活躍できる場が増えればと思います。また、三郷市内で支援して下さる会社などを増やしていきたいです。

係わりたい方に伝えたいことは「いつでもどうぞ、学生さんでも、80代でも。出来ることを、出来る時に、出来る人が、いろんな人がいた方がいろんなアイデアがでますから…」。

三郷の子どもたちがたくさんの人と出会い、安心して過ごせる住みやすい三郷市になればと思っています。



「みさと子育て応援フードパントリー」

お問い合わせ 090-2536-9469 (仲野)

misato.foodpantry@gmail.com

三郷市子ども政策室第2回『子どもの居場所』セミナー

プレイパークって何?一緒に遊ぼう!!

11月14日(土)ピアラシティ交流センター芝生広場にて

移動式プレイパーク体験会として開催されました。講師は、つむぎやさん
代表プレイワーカーの星野諭さん。

参加者は、子どもと遊ぶことに関心のある大人と、思いっきり遊びたい子ども合計71人。

移動式あそび場（プレイカー）をピアラシティ交流センター芝生広場に設置し、ハンモックや木のコマ、けん玉、つみき、楽器（鈴、トライアングル、木琴、ベルリラ）、ロープ、ままごとセット、ビー玉ころがしなどで遊び、とても楽しいプレイパーク体験ができました。



遊んだ後のディスカッションでは、参加者から「三郷にも常設のプレイパークがあったらいいと思った」「今回は芝生広場だったので、次回は、水、ドロ、たき火ができる場所がよい」「もっと型の無いもので、自分で作り出す遊びがあったてもいいんじゃないかと思った」などの声が聞かれました。



誰もが 子ども支援に参加できる世の中に

あらゆる業種の企業、団体、主婦、高校生、大学生、ビジネスパーソン、定年退職シニア、宗教者など、福祉の専門家でなくても、誰でも取り組める子ども支援・居場所づくりがあるのではないのでしょうか。

あなたも取り組んでみませんか！

自分のできることを考えてみてください。

- 子どもの居場所、子ども食堂の立ち上げ・運営
- 食材の提供
- 物品提供（業務冷蔵庫、冷凍庫、日用雑貨、文具など）
- 場所の提供（開設場所、倉庫）
- 寄付金
- 食事作り、遊び、学習支援などのボランティア
- フードパントリーの運営

「子どもの居場所」
(子ども食堂・プレイパーク)

についてのお問い合わせ・ご相談は、
三郷市子ども未来部子ども政策室
☎ 048-930-7816

右のQRコードから
ホームページに
アクセスできます。



三郷市青少年市民会議とは、

次代を担う青少年の健全育成を図ることを目的に平成8年に市内の青少年団体、青少年育成団体、個人が会員となって設立した組織です。会員は「地域育成部会」「青少年活動部会」「スポーツ・レクリエーション部会」「子育て応援部会」「広報啓発部会」に所属し、個々の団体、個人ではできない全市的な青少年の健全な育成への取り組みを行っています。

市民会議の会員を
募集しています！

目的に賛同される方は、個人、団体を問わず、誰でも参加できます。常時会員を募集していますので趣旨に賛同の上、入会を希望される方は、市民会議事務局へお問い合わせください。

青少年育成
市民会議に
ついて



(三郷市ホームページが開きます)

正会員

市民会議の運営や事業を計画し、実際に推し進めていきます。

個人正会員【会費 1,000円/年】

団体正会員【会費 3,000円/年】

賛助会員

実際の活動には忙しく参加できないけれども趣旨に賛同して資金的な援助をします。

個人賛助会員【会費 1口 3,000円/年とし、1口以上】

団体賛助会員【会費 1口 3,000円/年とし、1口以上】